



IFW

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re the Application of

: Docket No. 0072-TS50

MASAMI YOSHIDA

Application No. 10/781,604

Filed: February 18, 2004

For: TIP-UP AUTOMOTIVE SEAT PROVIDED
WITH INTERLOCKING MEANS

Commissioner for Patents
Alexandria, Virginia 22313-1450

CERTIFICATE OF MAILING UNDER 37 C.F.R. §1.8(a)

I hereby certify that this Correspondence is being deposited on September 21, 2004 with the United States Postal Service as first-class mail in an envelope properly addressed to COMMISSIONER FOR PATENTS, Alexandria, VA 22313-1450.

September 21, 2004
Date of Certificate

Frances L. McMenamin
Frances L. McMenamin

Commissioner for Patents
Alexandria, Virginia 22313-1450

CLAIM FOR PRIORITY

The Applicant in the above-identified application claims the benefit of priority under 35 U.S.C. §119 of Japanese Application No. 2003-041836, filed February 19, 2003, as set forth in the Declaration filed February 18, 2004. Pursuant to §119(b) and 37 C.F.R. §1.55, we are submitting herewith a certified copy of the Japanese Application.

Respectfully submitted,

DANN, DORFMAN, HERRELL AND SKILLMAN
A Professional Corporation
Attorneys for Applicant(s)

By Vincent T. Pace
VINCENT T. PACE
PTO Registration No. 31,049

Tel.: 215-563-4100
Fax: 215-563-4044
E-mail: vpac@ddhs.com

Enclosures: Priority document

BEST AVAILABLE COPY

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 2 月 1 9 日
Date of Application:

出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 0 4 1 8 3 6
Application Number:

ST. 10/C] : [J P 2 0 0 3 - 0 4 1 8 3 6]

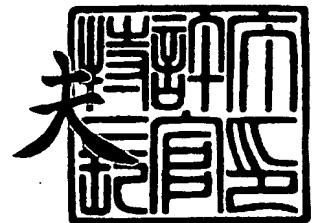
願 人 テイ・エス テック株式会社
Applicant(s):

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2 0 0 4 年 2 月 1 8 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出証番号 出証特 2 0 0 4 - 3 0 1 0 5 9 6

【書類名】 特許願

【整理番号】 TP15001104

【あて先】 特許庁長官 太田 信一郎 殿

【国際特許分類】 B60N 2/06
A47C 7/56
B60N 2/30

【発明者】

【住所又は居所】 栃木県塩谷郡高根沢町大字太田 1 1 8 - 1 テイ・エス
テック株式会社技術センター内

【氏名】 吉田 正美

【特許出願人】

【識別番号】 000220066

【氏名又は名称】 テイ・エス テック株式会社

【代理人】

【識別番号】 100077702

【弁理士】

【氏名又は名称】 竹下 和夫

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 036146

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 インターロック機構を備える自動車用チップアップシート

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 車体フロアに設置されるロアレールと、ロアレールで摺動可能に支持されるアッパーレールと、アッパーレールより上方に立ち上がるサイドブラケットとをスライドレールとして左右対に備え、

シートバックをサイドブラケットの後部間に立付け支持し、シートクッションを後部側に挿通する枢軸でサイドブラケットの前部間に軸承支持し、片端部をシートクッションの枢軸より離れた下部側でクッションフレームに支軸で連結すると共に、他端部をサイドブラケットの前後方向に向う直線状の長穴に挿通する誘導ピンでサイドブラケットに連結する跳上げロッドを備え、シートクッションを着座姿勢から立ち姿勢のシートバックに枢軸で立て付けて跳上げロッドで姿勢保持する自動車用チップアップシートにおいて、

ロアレールの底面側に向う第 1 アーム部と、第 1 アーム部の上端側よりサイドブラケットの後方側に向う第 2 アーム部とから略倒 L 字状を呈する規制レバーを備え、その規制レバーを第 2 アーム部との屈曲点に近い第 1 アーム部の側面でアッパーレールの上部側に支軸で軸承装着し、戻しバネを掛け止めて規制レバーを揺動可能に備え付け、

支点ピンを上端側に、係合ピンを下端側に設けた作動ロッドを備え、跳上げロッドの誘導ピンを挿通する長穴より下部側で水平方向の後穴部分から長穴の前端側に向かう上り傾斜の前穴部分に至る略逆へ字状のガイド穴をサイドブラケットの上部前寄り側面に設けると共に、第 2 アーム部の上辺側に沿う水平方向の後穴部分から上り傾斜の前穴部分に至る略逆へ字状のガイド穴をサイドブラケットの下部後寄り側面に設け、支点ピンを上部側のガイド穴に挿通し、係合ピンを下部側のガイド穴に挿通し、戻しバネを掛け止めて作動ロッドを上下動可能に備え付け、

跳上げロッドの誘導ピンを長穴の前端側で受入れ可能に開口する略 U 字状の上受け顎と、作動ロッドの支点ピンを作動ロッドの上昇点で受止め可能に窪ませた谷間状の下受け顎と、作動ロッドを上昇誘導可能に支点ピンと摺接する張出し顎

とを設けたカムを備え、そのカムを支軸でサイドブラケットの板面に軸承装着させて回転可能に備え付け、

第 1 アーム部の下端側と当接可能なストッパプレートをロアレールの前部寄り長手方向に備え付け、

シートクッションを跳ね上げないと、係止ピンが第 2 アーム部の上辺側と当接したままで、規制レバーが第 1 アーム部の下端側でストッパプレートと付き当ってシート全体を前方移動不能に保ち、

シートクッションを跳ね上げると、長穴の前端側に移動する誘導ピンがカムの下受け顎に嵌まり込んでカムを回転させると共に、張出し顎が作動ロッドを支点ピンで上昇誘導させて係合ピンを規制レバーの第 2 アーム部から離間し、

シート全体を前方移動すると、規制レバーが第 1 アーム部の下端側でストッパプレートの上側に載り上がってシート全体を前方移動可能にロック解除すると共に、作動ロッドを係合ピンで押し上げて支点ピンをカムの下受け顎と係合するインターロック機構を備え付けてなることを特徴とする自動車用チップアップシート。

【請求項 2】 作動ロッドの支点ピンを内側に取り込んでカムの下受け顎を取り囲む杵状の張出し顎を作動ロッドの上昇誘導、兼、カムの回転領域規制用として設けたインターロック機構を備え付けてなることを特徴とする請求項 1 に記載の自動車用チップアップシート。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、シートクッションを跳ね上げないと、シート全体を前方移動不能に保ち、一方、シートクッションを跳ね上げると、シート全体を前方移動可能にロック解除するインターロック機構を備える自動車用チップアップシートに関するものである。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

ワゴン車等の自動車においては、セカンドシートをフロントシートの後方に乃

至はサードシートをセカンドシートの後方に配置し、乗員のウオークインスペースや車内の荷物スペース等を確保するため、シートクッションを立ち姿勢のシートバックに向けて跳ね上げ、後部側シートをスライドレールで前部側シートの背後に片寄せ移動可能に備え付けることが提案されている（特許文献1）。

【0 0 0 3】

その自動車用スライドシートは、シートクッションを立ち姿勢のシートバックに向けて跳ね上げるチップアップ機構と共に、シートクッションを跳ね上げないと、シート全体を前方移動不能に保ち、一方、シートクッションを跳ね上げるに伴って、シート全体を前方移動可能にロック解除するインターロック機構を備えることにより構成されている。

【0 0 0 4】

そのインターロック機構は、チップアップ機構と同じ構造部のなかで互いに連動するよう組み付けられているため、機構全体として構造的に複雑なものに構成されている。

【0 0 0 5】

チップアップ機構は、インターロック機構と別の操作レバーで作動可能に組み付けられる。また、インターロック機構と別に電動モータで作動可能に組み付けられる。このため、インターロック機構としてはチップアップ機構と別の簡単な構造のものを備えるのが好ましい。

【0 0 0 6】

【特許文献1】

特開平9-188170号公報

【0 0 0 7】

【発明が解決しようとする課題】

本発明は、インターロック機構を簡単な構造のものに構成すると共に、立ち姿勢のシートバックに向けて跳ね上げられたシートクッションの荷重に十分耐えられるインターロック機構を備える自動車用チップアップシートを提供することを目的とする。

【0 0 0 8】

【課題を解決するための手段】

本発明の請求項 1 に係る自動車用チップアップシートにおいては、車体フロアに設置されるロアレールと、ロアレールで摺動可能に支持されるアッパーレールと、アッパーレールより上方に立ち上がるサイドブラケットとをスライドレールとして左右対に備え、

シートバックをサイドブラケットの後部間に立付け支持し、シートクッションを後部側に挿通する枢軸でサイドブラケットの前部間に軸承支持し、片端部をシートクッションの枢軸より離れた下部側でクッションフレームに支軸で連結すると共に、他端部をサイドブラケットの前後方向に向う長穴に挿通する誘導ピンでサイドブラケットに連結する跳上げロッドを備え、シートクッションを着座姿勢からシートバック側に枢軸で立て付けて跳上げロッドで姿勢保持するもので、

ロアレールの底面側に向う第 1 アーム部と、第 1 アーム部の上端側よりサイドブラケットの後方側に向う第 2 アーム部とから略倒 L 字状を呈する規制レバーを備え、その規制レバーを第 2 アーム部との屈曲点に近い第 1 アーム部の側面でアッパーレールの上部側に支軸で軸承装着し、戻しバネを掛け止めて規制レバーを揺動可能に備え付け、

支点ピンを上端側に、係合ピンを下端側に設けた作動ロッドを備え、跳上げロッドの誘導ピンを挿通する長穴より下部側で水平方向の後穴部分から長穴の前端側に向かう上り傾斜の前穴部分に至る略逆へ字状のガイド穴をサイドブラケットの上部前寄り側面に設けると共に、第 2 アーム部の上辺側に沿う水平方向の後穴部分から上り傾斜の前穴部分に至る略逆へ字状のガイド穴をサイドブラケットの下部後寄り側面に設け、支点ピンを上部側のガイド穴に挿通し、係合ピンを下部側のガイド穴に挿通し、戻しバネを掛け止めて作動ロッドを上下動可能に備え付け、

跳上げロッドの誘導ピンを長穴の前端側で受入れ可能に開口する略 U 字状の上受け顎と、作動ロッドの支点ピンを作動ロッドの上昇点で受止め可能に窪ませた谷間状の下受け顎と、作動ロッドを上昇誘導可能に支点ピンと摺接する張出し顎とを設けたカムを備え、そのカムを支軸でサイドブラケットの板面に軸承装着させて回転可能に備え付け、

第 1 アーム部の下端側と当接可能なストッパプレートをロアレールの前部寄り長手方向に備え付け、

シートクッションを跳ね上げないと、係止ピンが第 2 アーム部の上辺側と当接したままで、規制レバーが第 1 アーム部の下端側でストッパプレートと付き当ってシート全体を前方移動不能に保ち、

シートクッションを跳ね上げると、長穴の前端側に移動する誘導ピンがカムの上受け顎に嵌まり込んでカムを回転させると共に、張出し顎が作動ロッドを支点ピンで上昇誘導させて係合ピンを規制レバーの第 2 アーム部から離間し、

シート全体を前方移動すると、規制レバーが第 1 アーム部の下端側でストッパプレートの上側に載り上がってシート全体を前方移動可能にロック解除すると共に、作動ロッドを係合ピンで押し上げて支点ピンをカムの下受け顎と係合するインターロック機構を備え付けることにより構成されている。

【0009】

本発明の請求項 2 に係る自動車用チップアップシートにおいては、作動ロッドの支点ピンを内側に取り込んでカムの下受け顎を取り囲む枠状の張出し顎を作動ロッドの上昇誘導、兼、カムの回転領域規制用として設けたインターロック機構を備え付けることにより構成されている。

【0010】

【発明の実施の形態】

以下、添付図面を参照して説明すると、図示実施の形態は、乗員のウオークインスペースや車内の荷物スペース等を確保するため、シートクッションを立ち姿勢のシートバックに向けて跳ね上げるチップアップ機構を備え、シート全体を前部側シートの背後にスライドレールで位置移動可能な後部側シートを構成するのに適用されている。そのチップアップ機構は、シートクッションを手作業で跳ね上げ、また、後述するインターロック機構と別の操作レバーで機械的に或いは電動モータで自動的に作動するものとして組み付けられる。

【0011】

その後部側シートは、図 1 で示す（以下、各構成部を片側のみで図示する。）ように車体フロアに設置されるロアレール 1 と、ロアレール 1 で摺動可能に支持

されるアッパーレール 2 と、アッパーレール 2 から立ち上がるサイドブラケット 3 とをスライドレールとして左右対に備え、アッパーレール 2 を含むシート全体をロアレール 1 で車内の前方（矢印 X 方向）または後方に位置移動可能に備え付けられている。

【0012】

シートバック 4 は、リクライニング機構等を備えてサイドブラケット 3 の後部間に立付け支持されている。シートクッション 5 は、クッションフレーム 5 a をサイドブラケット 3 の前部間に枢軸 5 b で軸承枢着することによりクッションフレーム 5 a をベースに組み付けられている。また、サイドブラケット 3 の前方に張り出すアンダーフレーム（図示せず）を備え、クッションフレーム 5 a をアンダーフレームで下部側から受け止めることから着座姿勢を保つよう組み付けられている。

【0013】

シートクッション 5 とサイドブラケット 3 との間には、チップアップ機構を構成する跳上げロッド 6 が掛渡し装着されている。この跳上げロッド 6 は、片端部をシートクッション 5 の枢軸 5 b より離れた下部側でクッションフレーム 5 a に支軸 6 a で連結すると共に、他端部をサイドブラケット 3 の前後方向に向う直線状の長穴 30 に挿通する誘導ピン 6 b でサイドブラケット 3 に連結することによりシートクッション 5 をシートバック 4 に向けて跳ね上げられるよう備え付けられている。

【0014】

インターロック機構は、ロアレールの底面側に向う第 1 アーム部 7 a と、第 1 アーム部 7 a の上端側よりサイドブラケット 3 の後方側に向う第 2 アーム部 7 b とから略倒 L 字状を呈する規制レバー 7 を備えて構成されている。この規制レバー 7 は、第 2 アーム部 7 b との屈曲点に近い第 1 アーム部 7 a の側面でアッパーレール 2 の上部側に支軸 7 c で軸承装着されている。また、コイルバネ 7 d を戻しバネとして第 1 アーム部 7 a を軸承する支軸 7 c の下付近よりアッパーレール 2 の前寄りとの間に掛け止めることにより揺動可能に備え付けられている。

【0015】

そのインターロック機構の規制レバー 7 に対し、作動ロッド 8 が連動するよう備え付けられている。この作動ロッド 8 は、支点ピン 8 a を上端側に、係合ピン 8 b を下端側に設け、支点ピン 8 a を上部側のガイド穴 3 1 に挿通し、係合ピン 8 b を下部側のガイド穴 3 2 に挿通し、戻しバネ 8 c をロッド上端側よりサイドブラケット 3 の前下寄りとの間に掛け止めることにより上下動可能に備え付けられている。

【0 0 1 6】

支点ピン 8 a のガイド穴 3 1 は、跳上げロッド 6 の誘導ピン 6 b を挿通する長穴 3 0 より下部側で水平方向の後穴部分 3 1 a から長穴 3 0 の前端側に向かう上り傾斜の前穴部分 3 1 b に至る略逆へ字状を呈するようサイドブラケット 3 の上部前寄り側面に形成されている。係合ピン 8 b のガイド穴 3 2 は、第 2 アーム部 7 b の上辺側に沿う水平方向の後穴部分 3 2 a から上り傾斜の前穴部分 3 2 b に至る略逆へ字状を呈するようサイドブラケット 3 の下部後寄り側面に設けられている。

【0 0 1 7】

ガイド穴 3 1 は、後述するように支点ピン 8 a が作動ロッド 8 の上昇点でカムの下受け顎と係合すると、支点ピン 8 a を前穴部分 3 1 b の穴下縁で受け止められるよう後穴部分 3 1 a とのなす角が係合ピン 8 b のガイド穴 3 2 よりも相対的に大きな鈍角に形成されている。ガイド穴 3 2 は、係合ピン 8 b が規制レバー 7 の第 2 アーム部 7 b から離れて規制レバー 7 を所定角だけ揺動させられるよう、第 2 アーム部 7 b の上辺側に沿う水平方向の後穴部分 3 2 a から上り傾斜の前穴部分 3 2 b に至る形状に形成されている。

【0 0 1 8】

誘導ピン 6 b 並びに支点ピン 8 a に対しては、カム 9 が備えられている。そのカム 9 には、誘導ピン 6 b を長穴 3 0 の前端側で受入れ可能に開口する略 U 字状の上受け顎 9 a と、支点ピン 8 a を作動ロッド 8 の上昇点で受止め可能に窪ませた谷間状の下受け顎 9 b と、作動ロッド 8 を上昇誘導可能に支点ピン 8 a と摺接する張出し顎 9 c とが設けられている。

【0 0 1 9】

そのカム9の張出し顎9cは、作動ロッド8の支点ピン6bを内側に取り込んでカム9の下受け顎9bを取り囲む円弧形の枠状に形成されている。また、枠内縁が作動ロッド6の支点ピン6bと摺接することから、作動ロッド6を所定の上昇位置まで誘導すると共に、カム9の回転領域を規制するよう設けられている。この張出し顎9cは、カム9の本体と別に形成したものを取り付け、或いはカム9の本体と一体に形成するようにできる。

【0020】

規制レバー7に対しては、第1アーム部7aの下端側と当接可能なストッパプレート10がロアレール1の前部寄り長手方向でレール内に取り付けることによりに備え付けられている。この他、符号2a, 2bはアップパーレール2のスライドロラ、10はレバー操作で解除可能なスライドレールのロック歯、11はロック歯11の戻しバネを示す。

【0021】

このように構成するインターロックを備えるスライドシートでは、図2並びに図3で示すようにシートクッション5を跳ね上げないと、係止ピン8bが第2アーム部7bの上辺側と当接したままで、規制レバー7が第1アーム部7aの下端側でストッパプレート10と付き当たることから、スライドロックのロック歯11をロアレール1と開錠するよう操作しても、シート全体が前方移動不能に保たれる。これにより、シート全体を前部側シートの背後まで移動するに先立って、シートクッション5が前部側シートに当たらないよう跳ね上げることを作業者に促がせられる。

【0022】

シートクッション5を跳ね上げると、跳上げ当初は、図4で示すように長穴30の前端側に移動する誘導ピン6bがカム9の上受け顎9aに嵌まり込んでカム9を回転させると。これと共に、張出し顎9cが作動ロッド8を支点ピン8aで上昇誘導させて係合ピン8bを規制レバー7の第2アーム部7bから離間させることにより、規制レバー7がストッパプレート10の上側に載り上げられるよう係合ピン8bから解除される。

【0023】

シート全体を前方移動すると、図 5 並びに図 6 で示すように規制レバー 7 が第 1 アーム部 7 a の下端側でストッパプレート 1 0 の上側に載り上がってシート全体を前方移動可能にロック解除すると共に、作動ロッド 8 を係合ピン 8 b で押し上げて支点ピン 8 a をカム 9 の下受け顎 9 b と係合させる。その支点ピン 8 a がカム 9 の下受け顎 9 b と係合すると、支点ピン 8 a が前穴部分 3 1 b の穴下縁で受け止めることから、立ち姿勢のシートバック 4 に向けて跳ね上げられたシートクッション 5 の荷重を支点ピン 8 a で受け止められる。

【0 0 2 4】

シート全体を後方位置に移動するときは、規制レバー 7 の第 1 アーム部 7 a がストッパプレート 1 0 の上側から外れない以上、シートクッション 5 が前に倒れない。規制レバー 7 の第 1 アーム部 7 a がストッパプレート 1 0 の上側から外れると、規制レバー 7 が戻しバネ 7 d で元の姿勢に戻ると共に、作動ロッド 8 が支点ピン 8 a 並びに係合ピン 8 b を挿通するガイド穴 3 1, 3 2 に沿って戻しバネ 8 c で元の位置に復帰可能となる。

【0 0 2 5】

最終的には、シートクッション 5 を前倒しすれば、跳上げロッド 6 が誘導ピン 6 b をカム 9 の上受け顎 9 a から外すよう揺動し、上述したように作動ロッド 8 が支点ピン 8 a 並びに係合ピン 8 b を挿通するガイド穴 3 1, 3 2 に沿って戻しバネ 8 c で元の位置に復帰動する。これにより、係止ピン 8 b が第 2 アーム部 7 b の上辺側と当接し、シート全体がストッパプレート 1 0 の取付位置より前方移動不能に保たれる。

【0 0 2 6】

このインターロック機構は、シートクッション 5 とサイドブラケット 3 の間に掛け渡す跳上げロッド 6 と、アッパーレール 2 の側面に軸承枢着する規制レバー 7 と、受け顎 9 a, 9 b、張出し顎 9 c を設けたカム 9 と、カム 9 の張出し顎 9 c とサイドブラケット 3 の間に掛け止める作動ロッド 8 と、ロアレール 1 の内底面に配設するストッパ 7 とを必要部材として構成されている。また、誘導ピン 6 b、支点ピン 8 a、係合ピン 8 b、枢軸 5 b、支軸 6 a, 7 c, 9 c 並びに戻しバネ 7 d, 8 c を備えるだけの簡単な構造に構成されている。

【0027】

それと共に、シートクッションの跳上げ状態では、支点ピン 8 a が前穴部分 3 1 b の穴下縁で受け止められるため、シートクッション 5 の荷重を支点ピン 8 a で受けることから、シートクッション 5 の荷重に十分耐えられるインターロック機構として構成できる。また、跳上げロッド 6, 規制レバー 7, 作動ロッド 8, カム 9, ストッププレート 10 をロアレール 1 の面積内に備え付けるため、足回りの設置面積を取らない簡単な構造ものに構成できる。

【0028】

上述した実施の形態においては、規制レバー 7 を仕儀区 7 c でアッパーレール 2 の側面に軸承装着し、また、戻しバネ 7 d を第 1 アーム部 7 a の枢軸下付近とアッパーレール 2 の前方側との間に掛け止めるよう説明した。但し、サイドブラケット 3 はアッパーレール 2 と一体に立ち上がるものであるため、アッパーレール 2 の立上り幅如何によっては規制レバー 7 を支軸 7 c でサイドブラケット 3 の側面に軸承装着し、また、戻しバネ 7 d を第 1 アーム部 7 a の枢軸下付近とサイドブラケットの前方側との間に掛け止めるよう設計変更できる。従って、規制レバー 7 の軸承位置乃至は戻しバネ 7 d の掛止め位置はサイドブラケット 3 の面積内も含む。

【0029】

【発明の効果】

以上の如く、本発明の請求項 1 に係る自動車用チップアップシートに依れば、シートクッションを跳ね上げないと、係止ピンが第 2 アーム部の上辺側と当接したままで、規制レバーが第 1 アーム部の下端側でストッププレートと付き当ってシート全体を前方移動不能に保ち、

シートクッションを跳ね上げると、誘導ピンがカムの上受け顎に嵌まり込んでカムを回転させると共に、張出し顎が作動ロッドを支点ピンで上昇誘導させて係合ピンを規制レバーの第 2 アーム部から離間し、

シート全体を前方移動すると、規制レバーが第 1 アーム部の下端側でストッププレートの上側に載り上がってシート全体を前方移動可能にロック解除すると共に、作動ロッドを係合ピンで押し上げて支点ピンをカムの下受け顎と係合するイ

ンターロック機構を備え付けることにより、簡単な構造でシートクッションの荷重に十分耐えられるインターロック機構として備えられる。

【0 0 3 0】

本発明の請求項 2 に係る自動車用チップアップシートに依れば、作動ロッドの支点ピンを内側に取り込んでカムの下受け顎を取り囲む杵状の張出し顎を作動ロッドの上昇誘導、兼、カムの回転領域規制用として設けたインターロック機構を備え付けることにより、張出し顎の杵内縁が作動ロッドの支点ピンと摺接することから、作動ロッドを所定の上昇位置まで安定よく誘導できると共に、カムが過剰に回転しないよう回転領域をカムの張出し顎で規制できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明に係る自動車用チップアップシートのインターロック機構を主に示す側面図である。

【図 2】

図 1 のチップアップシートをスライド不能状態で示す側面図である。

【図 3】

図 2 のスライド不能なチップアップシートにおけるインターロック機構を主要部で示す説明図である。

【図 4】

図 4 のチップアップシートにおけるインターロック機構を作動途上時で示す動作説明図である。

【図 5】

図 1 のチップアップシートをシートクッションの跳上げ状態で示す説明図である。

【図 6】

図 5 のチップアップシートにおけるインターロック機構を作動完了時で示す動作説明図である。

【符号の説明】

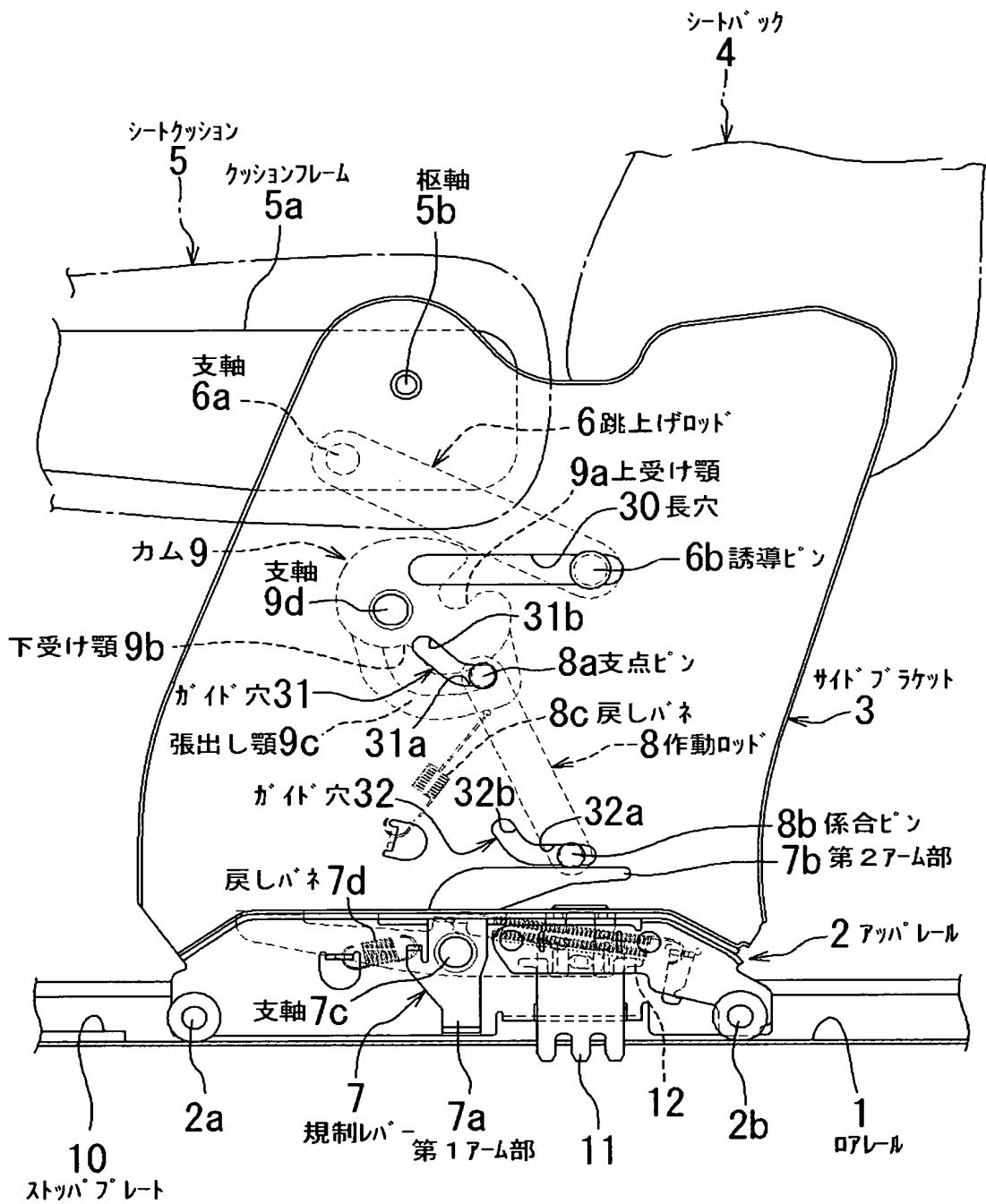
1 ロアレール

- 2 アッパーレール
- 3 サイドブラケット
- 4 シートバック
- 5 シートクッション
- 5 b シートクッションの枢軸
- 6 跳上げロッド
- 6 a 跳上げロッドの支軸
- 6 b 跳上げロッドの誘導ピン
- 7 規制レバー
- 7 a 規制レバーの第 1 アーム部
- 7 b 規制レバーの第 2 アーム部
- 7 c 規制レバーの支軸
- 7 d 規制レバーの戻しバネ
- 8 作動ロッド
- 8 a 作動ロッドの支点ピン
- 8 b 作動ロッドの係合ピン
- 8 c 作動ロッドの戻しバネ
- 9 カム
- 9 a カムの上受け顎
- 9 b カムの下受け顎
- 9 c カムの張出し顎
- 1 0 ストッププレート
- 3 0 誘導ピン挿通用の長穴
- 3 1 支点ピン挿通用のガイド穴
- 3 2 係合ピン挿通用のガイド穴

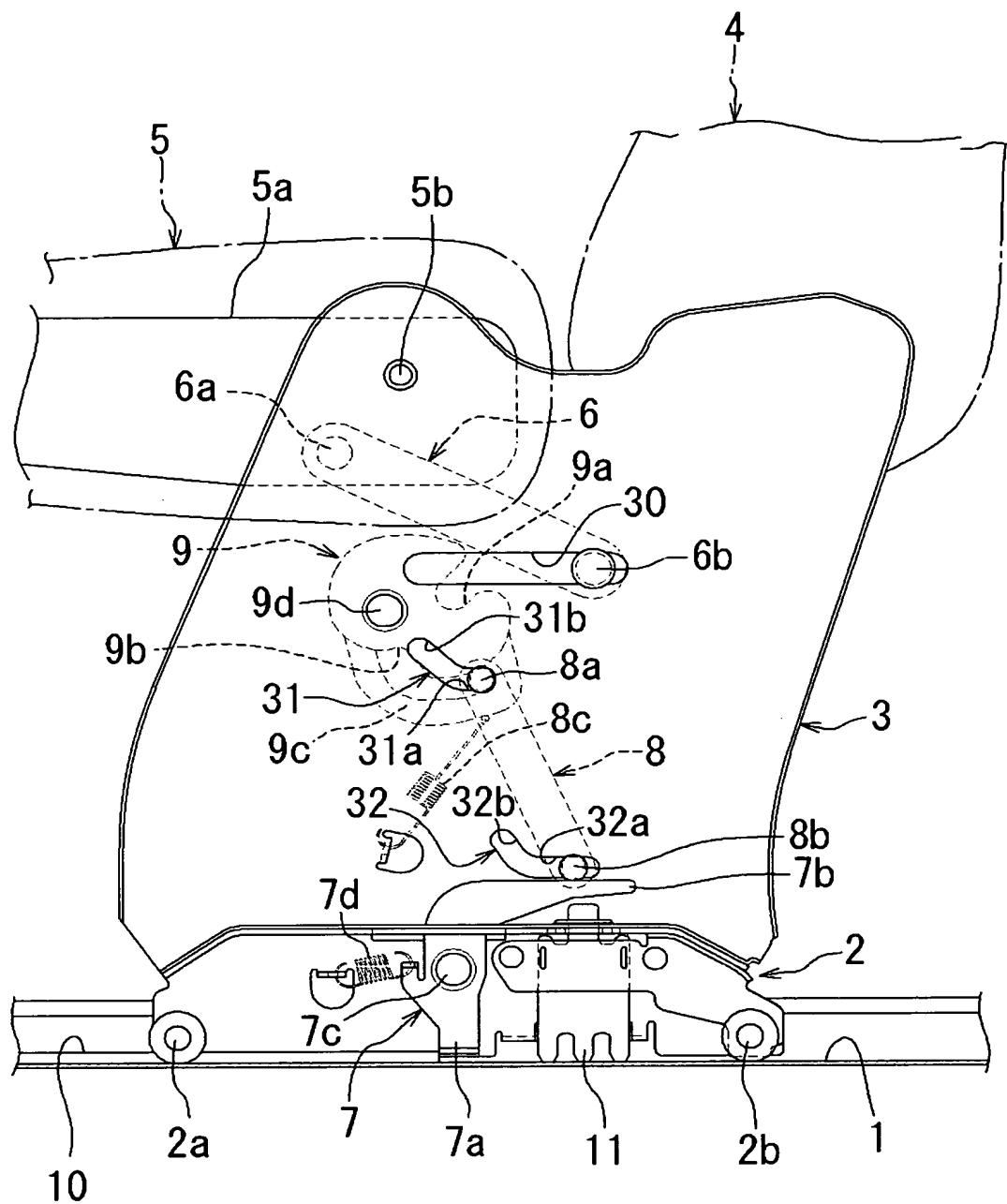
【書類名】

図面

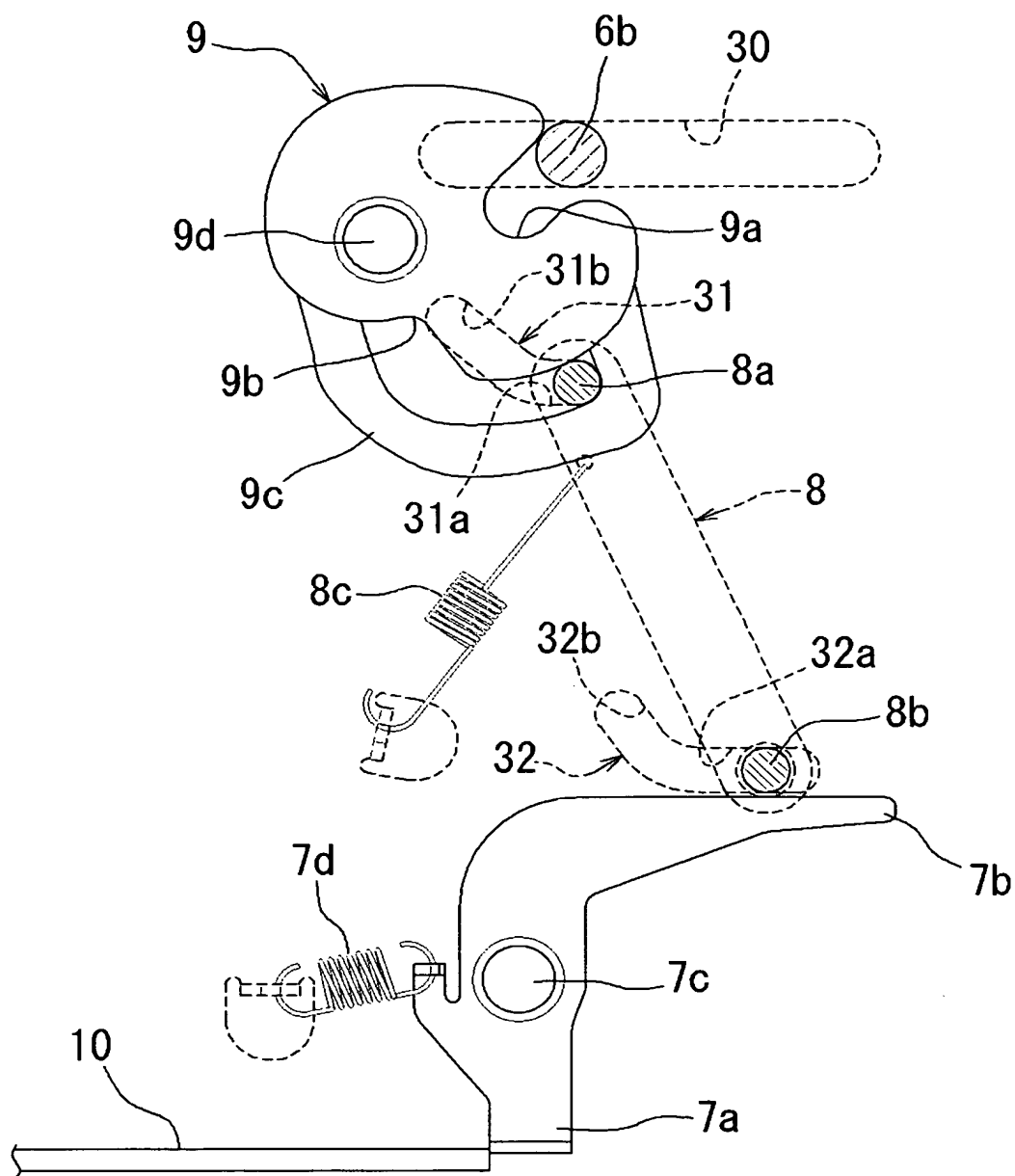
【図 1】



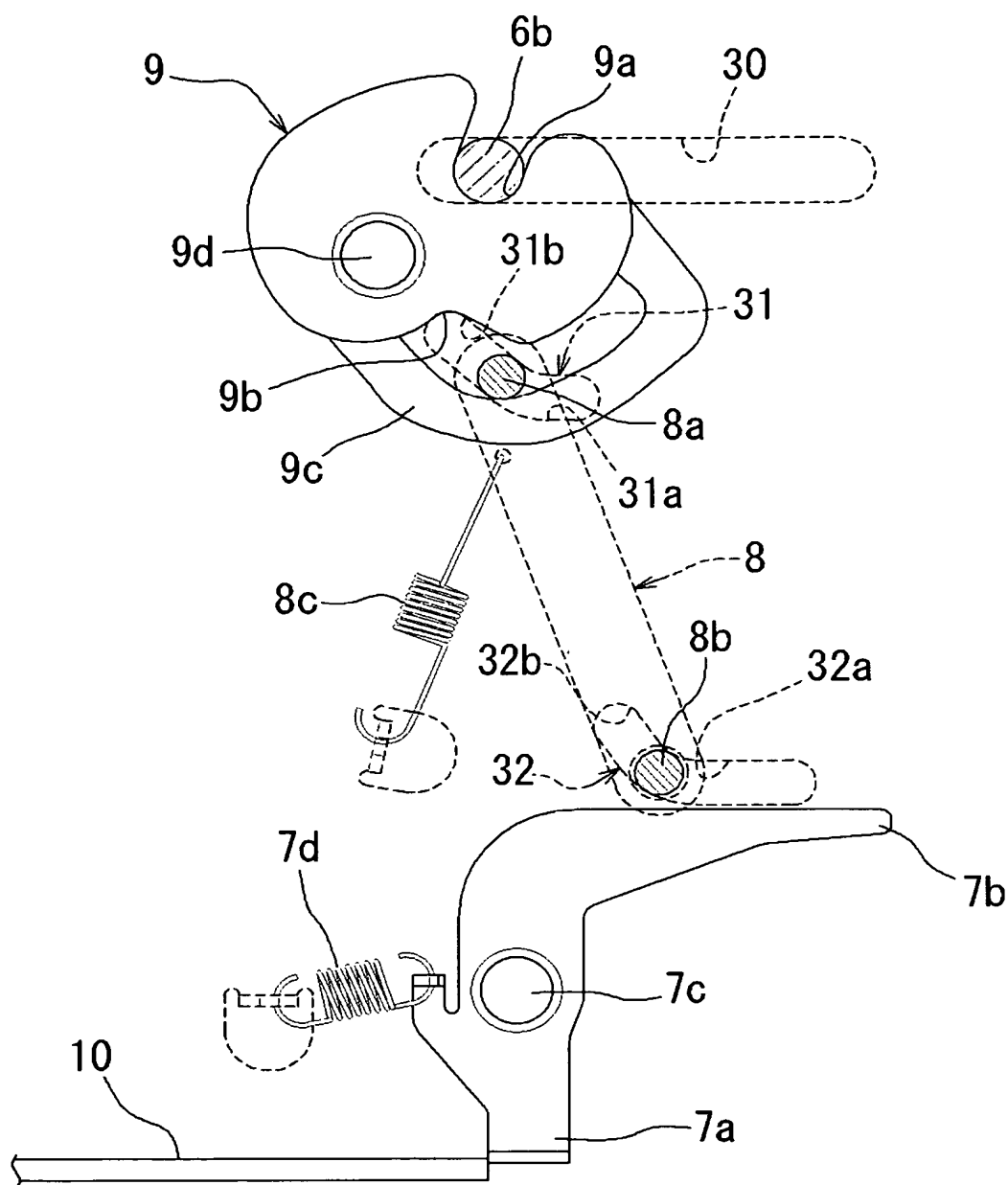
【図 2】



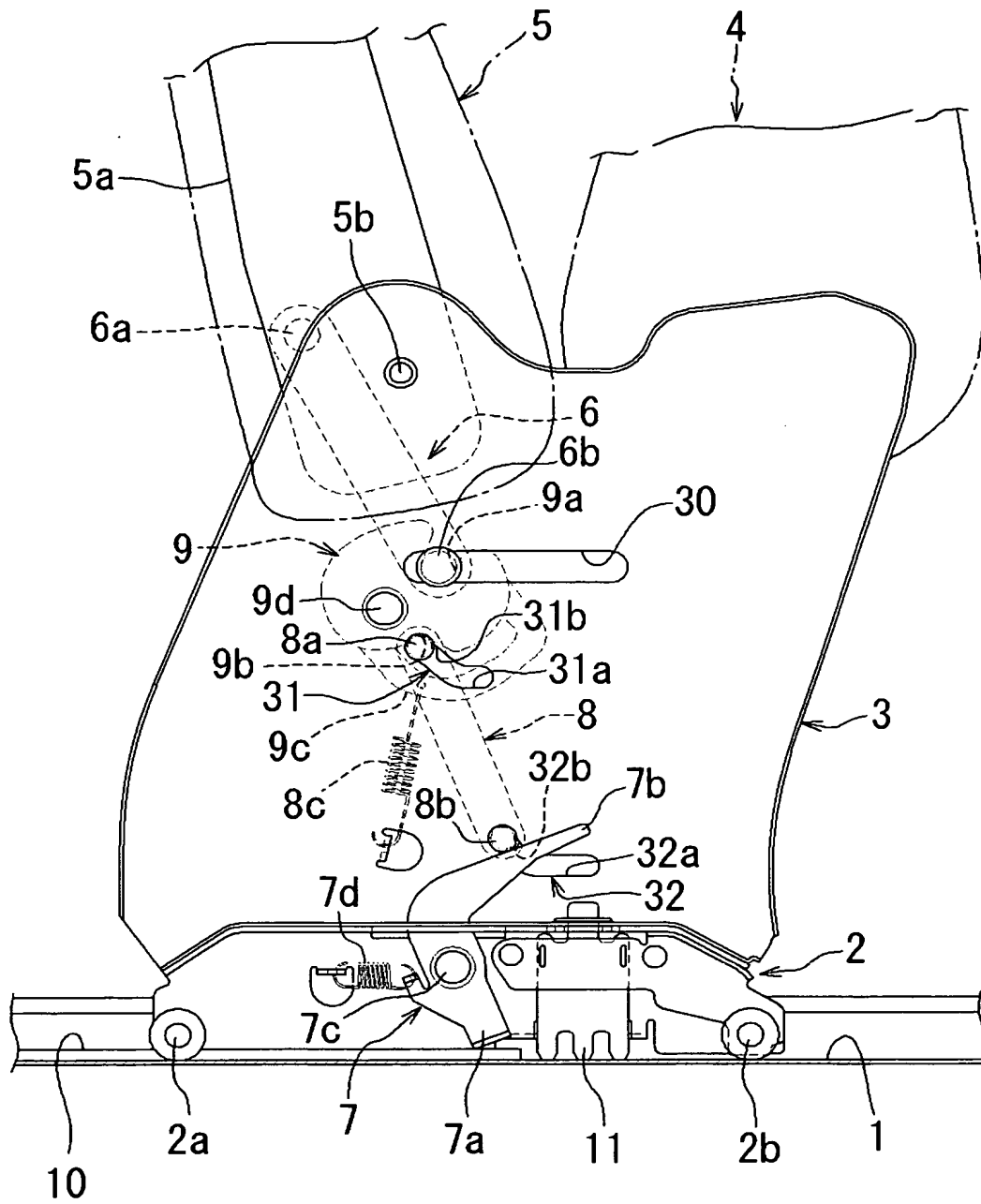
【図 3】



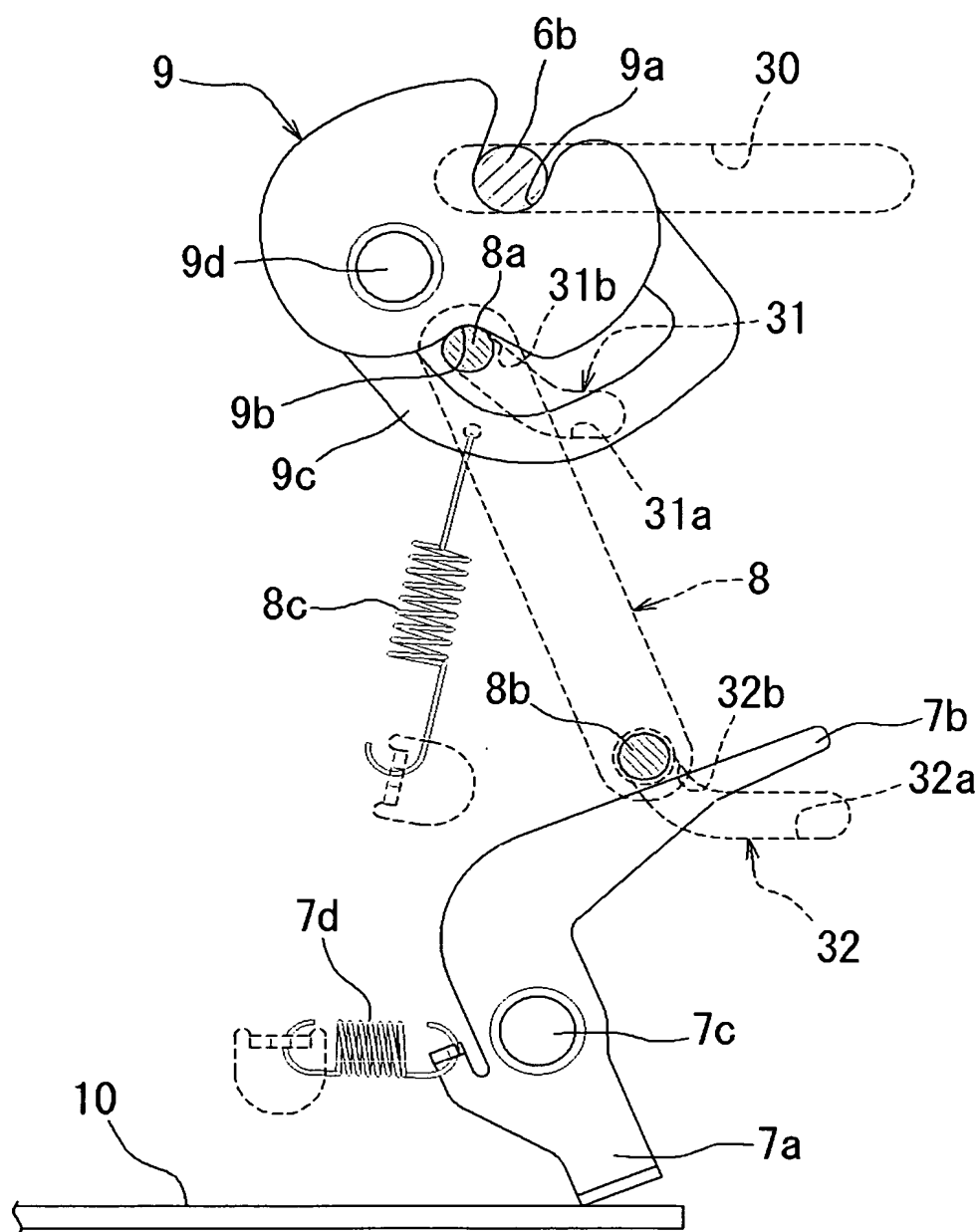
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 簡単な構造でシートクッションの荷重に十分耐えられるインターロック機構を構成する。

【解決手段】 シートクッション 5 を跳ね上げないと、係止ピン 8 b が第 2 アーム部 7 b の上辺側と当接し、規制レバー 7 が第 1 アーム部 7 a の下端側でストッププレート 1 0 と付き当ってシート全体を前方移動不能に保ち、シートクッション 5 を跳ね上げると、誘導ピン 6 b がカム 9 の上受け顎 9 a に嵌まり込んでカム 9 を回転させ、張出し顎 9 c が作動ロッド 8 を上昇誘導させて係合ピン 8 b を規制レバー 7 から離間し、シート全体を前方移動すると、規制レバー 7 がストッププレート 1 0 の上側に載り上がってシート全体を前方移動可能にロック解除すると共に、作動ロッド 8 を係合ピン 8 b で押し上げて支点ピン 8 a をカム 9 の下受け顎 9 b と係合するインターロック機構を備え付ける。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2 0 0 3 - 0 4 1 8 3 6
受付番号	5 0 3 0 0 2 6 6 9 5 8
書類名	特許願
担当官	第四担当上席 0 0 9 3
作成日	平成 1 5 年 2 月 2 0 日

< 認定情報・付加情報 >

【提出日】	平成15年 2月19日
-------	-------------

次頁無

特願 2 0 0 3 - 0 4 1 8 3 6

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 2 2 0 0 6 6]

1. 変更年月日	1 9 9 7 年 1 0 月 1 日
[変更理由]	名称変更
住 所	埼玉県朝霞市栄町 3 丁目 7 番 2 7 号
氏 名	テイ・エス テック株式会社